

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第137号	氏名	夏 志銀
学位審査委員	主 査 田口 尚 副 査 山下俊一 副 査 大園恵幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、コラーゲン特異的分子シャペロンである heat shock protein 47 (HSP47) をターゲットとした siRNA を用いて、腎間質線維化の抑制効果を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 HSP47 siRNA および、それをカチオン化ゼラチン粒子で処理した HSP47 siRNA-CGM を1側尿管結紮マウスに投与し、腎の間質線維化とコラーゲン発現を検討したものであり、HSP47 の発現抑制や HSP47 siRNA の腎組織内への取り込み確認実験も組み込まれており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、HSP47 siRNA の投与により、腎間質線維化が抑制されることが明らかになり、カチオン化ゼラチン粒子を用いることにより、HSP47 発現抑制期間の調節が可能であることを示しており、今後の治療法開発の基礎的研究として高く評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は腎線維化に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			